

《令和4年度 高田東小の教育 グランドデザイン》

学校教育目標 「チャレンジ！なかよし！進んで学ぶ 東の子」

- 知** 進んで学び続け、考えを深め、豊かにする子どもを育てます。
- 徳** 自他の違いを認め合い、心豊かに生きる子どもを育てます。
- 体** 心も体も健康な生活を実践し、自他の生命を大切にすることを育てます。
- 公** 地域とつながりを大切にし、他者と協働して共に生きる子どもを育てます。
- 開** 持続可能な社会の実現に向けて行動し、多様な変化に柔軟に対応できる子どもを育てます。

教育目標達成に関する具体的指針

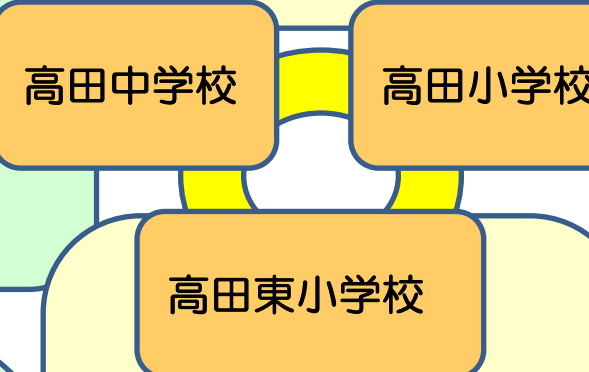
「子ども一人ひとりの個性や多様性を尊重し、つながりを大切にした教育」を目指します。

- 子どもたちが、主体的に学習に取り組む授業づくりを進めます。
- 子どもたちが、安心して自分を表現できる学級風土づくりを進めます。
- 子どもたちが、安全に、健康の保持増進と体力向上を目指して学ぶ健康教育を進めます。
- 子どもたちが、持続可能な社会の実現に向かったり、自分の夢や目標に向かったりする取組を推進します。



併設型小中学校の小中一貫教育【テーマ】
「豊かな表現力の育成を目指して～情報化社会を生きぬく能力を高めるための指導の実践～」

高田中学校ブロック【9年間で育てる子ども像】
○自らすすんで学び続ける子
○仲間と協力して よりよい社会の実現を目指す子



学習指導要領

- ◇「社会に開かれた教育課程」の実現
- ◇新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実
- ◇新しい時代に必要となる資質・能力をふまえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し
- ◇「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習過程の改善

【教育内容の主な改善事項】

- ・言語能力の確実な育成
- ・理数教育の充実
- ・伝統や文化に関する教育の充実
- ・道徳教育の充実
- ・体験活動の充実
- ・外国語教育の充実
- ・情報活用、プログラミング教育

横浜教育ビジョン2030

◇横浜の教育が目指す人づくり
「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

◇横浜の教育の方向性
「多様性を尊重し、つながりを大切にした教育を推進します」

- 1 子どもの可能性を広げます
- 2 魅力ある学校をつくります。
- 3 豊かな教育環境を整えます。
- 4 社会全体で子どもを育てます。

第3期横浜教育振興基本計画(2018～2022)

◇基本姿勢
「持続可能な学校への変革」
「客観的な根拠に基づく教育政策の推進」

◇施策の柱となるテーマ

- 1 主体的な学び
- 2 創造に向かう学び
- 3 支え合う風土
- 4 学びと育ちの連続性
- 5 安心して学べる学校
- 6 社会とつながる学校
- 7 いきいきと働く教職員
- 8 学び続ける教職員
- 9 安全・安心な環境
- 10 地域とともに歩む学校
- 11 市民の豊かな学び
- 12 家庭教育の支援
- 13 多様な主体との連携・協働
- 14 切れ目のない支援

授業改善

- 「進んでやる」「追求する」「思いを伝え合う」子どもの育成を目指した授業改善
- 学力・学習状況調査の分析を生かした学習指導の充実

いじめへの対応

- 月1回のアンケートによる早期発見と迅速な対応
- 道徳学習の充実による温かな学級風土づくり
- いじめ防止対策委員会での組織的な見守り体制
- 全教職員の感度を高める研修を充実
- 指導の意図を明確にした一貫共通した指導

人材育成・組織運営

- メンターチームでの教科領域の指導法、学級経営、児童理解等の継続的な研修
- ICTを活用した事務の効率化と全職員の組織的な働き方改革
- 教職員のキャリアステージに応じた校内外の研修の推進

中期学校経営方針における重点取組分野

人権教育

- 呼び方、挨拶・返事・言葉遣いの徹底
- 「聴く」ことを大切にした指導
- ペア学年での活動の充実
- 委員会活動を充実

健康教育

- 体育学習の充実
- 芝生養生期間等の運動環境の工夫
- 「食に関する指導の全体計画」を整備
- 家庭との連携
- 児童会活動を通じた活動の推進

特別支援教育

- 子どもの様子や見とりの組織での共有
- ユニバーサルデザインでの学習環境
- 学年やブロックで協働した授業づくり
- Y-P アセスメントの効果的な活用
- 個別の指導計画や教育支援計画を活用した特別支援の日常化

地域学校協働活動

- 児童・保護者が実感できる地域・中学校ブロックでの連携・協働
- 地域の材の積極活用と適切な情報発信
- 地域学校協働本部との連携
- 地域の方や保護者の教育活動への参加推進による社会に開かれた教育課程の実現

自分づくり教育

- 育てたい「基礎的・汎用的能力」の設定
- 自分づくり教育(キャリア教育)全体計画の作成
- 「自分づくり(キャリア)パスポート」の活用

GIGAスクール構想

- ICT 機器についてのルールの明確化
- ICT 機器を積極的活用
- 「多様な子どもたち一人ひとりに合った学び」と「多様な他者と協働する学び」の充実

教育環境整備

- 破損個所の修繕等、環境整備の迅速な対応
- 職場環境の改善
- 安全管理マニュアル等の周知徹底
- 学校経営方針を踏まえた教育予算の執行

50周年に向けた取組を開始

教育活動の積極的な公開(授業参観・学校HP・学校便り等)、学校評価(「児童アンケート」「保護者の学校評価アンケート」「学校運営協議会での学校関係者評価」「教職員の経営計画の振り返り」)による教育活動の見直しと改善

学校運営協議会

【ねらい】
○地域の力を学校運営に導入することを通じて学校運営の活性化を図る。
○地域住民や保護者の参画により、校長の学校経営を支援。
○外部講師やボランティアの依頼等、地域の協力を得やすい環境を構築。

地域学校協働本部

○3校の学校地域コーディネーター代表が学校運営協議会に参加することで、高田中学校ブロックでの連携を図る。
○ボランティア活動、学習活動の支援内容を検討し、地域の力を学校教育活動に活かすための働きかけを行う
※地域学校協働本部の役割とは。
○より幅広い地域の皆さんや団体と学校との連絡調整を行い、緩やかなネットワークを形成する。